

昭和前期の九州大学病院精神科における気分障害・不安障害患者についての研究

## 1. 観察研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。患者さんの生活習慣や検査結果、疾病への治療の効果などの情報を集め、これを詳しく調べて医療の改善につながる新たな知見を発見する研究を「観察研究」といいます。その一つとして、九州大学病院精神科神経科では、現在、昭和前期の気分障害および不安障害の患者さんを対象として、病前性格に関する「観察研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2027年3月31日までです。

## 2. 研究の目的や意義について

かつての精神医学では、気分障害（躁うつ病、うつ病など）にかかるのは、一定の特徴を持つ性格（「病前性格」と呼びます）の方であると考えられていました。そして、そのような病前性格は、時代の変化に影響を受けるとは考えられていませんでした。しかしその後、病前性格はそれほど一様ではなく、また一定してもいないと考えられるようになりました。精神疾患は一般に、体質的な要因（時代の影響を受けにくい）と社会的な要因（時代の影響を受けやすい）との相互作用によって生じると考えられていますが、どちらがどの程度の影響を与えているのかを知ることは、それほど簡単ではないのです。しかしこのことは、精神疾患を治療するうえで、体質的な要因に働きかける治療（薬物療法など）と社会的要因に働きかける治療と、どのようにバランスをとるべきかを考えるうえで重要な点です。

「執着気質」とは、昭和初期の九州帝国大学附属病院精神科で提案された、気分障害の病前性格であり、熱中しやすさや責任感の強さを特徴とするものでした。先行研究では、この病前性格を持つ方の入院は、戦後になって減ったらしいことがわかっています。しかし、そもそも当時「執着気質」を持っているとみなされた方たちは、どのような方であったのか、またそのような方たちは、どのような理由で減っていったのかについては、よくわかりません。

そのため、今回私たちは、九州（帝国）大学附属病院精神科の昔のカルテを調べて、昭和前期（戦前から戦後にかけて）に入院して治療を受けた気分障害の方の情報を調べる研究を計画しました。「執着気質」と比較するために、同じ時期に入院して森田療法という治療を受けた不安障害の方についても調べる予定です。また、当時の精神医療全体の変化を知るために、特定の年代については、入院して治療を受けたすべての精神疾患の方についても調べる予定です。この研究は、通常の研究では明らかにすることの難しい、精神疾患の長期的な変化を明らかにするものであり、得られた知見によって、精神疾患の治療をよりバランスのとれたものにできる可能性があると考えています。

## 3. 研究の対象者について

本研究が対象とするのは、1932年1月1日から1955年12月31日のあいだに、九州（帝国）大学附属病院精神科を退院した、

(A)気分障害（双極性障害、うつ病、気分変調症：当時のカルテでは「躁鬱病」、「躁病」、「鬱病」、「初老期鬱憂症」のほか、「抑うつ反応」、「心因反応」、「神経衰弱」、「ヒステリー」と診断されていることもある）の方

(B)不安障害（強迫性障害、社交不安障害、パニック障害、心気症、身体表現性障害：当時のカルテでは「神経質」、「強迫神経症」、「心臓神経症」、「対人恐怖症」、「赤面恐怖症」、「ヒポコンドリー」と診断されている）の方（A群とB群合わせて1,400名）、および

(C)1933年、1938年、1943年、1948年、1953年に退院したすべての方（上記A群、B群に含まれる方を除いて1,400名）  
・・・の3群の方です。

上記の研究対象者に含まれる可能性のある方またはそのご遺族などで、研究の対象者となることを希望されない方、又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。直ちに研究対象から除外いたしますが、それによる不都合などは一切生じません。

#### 4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報の、各項目間の関係性や、時代による変化を分析し、精神疾患の表れ方に対する社会的要因の影響を明らかにします。

〔取得する情報〕(A群およびB群) 生年月、入院年月日、退院年月日、発病時年齢、再発回数、性別、発病地（福岡市内、福岡市外福岡県内、隣接県、遠隔県、外地の5群に分類し、分類コードのみ記録）、職業、宗教、最終学歴、病前性格（自由記述、チェック表）、既往歴、ライフイベントおよび発病過程、精神病症状（幻覚や妄想）の有無と内容、自殺企図の有無、治療内容、転帰。

〔取得する情報〕(C群) 生年月、入院年月日、退院年月日、性別、発病地（福岡市内、福岡市外福岡県内、隣接県、遠隔県、外地の5群に分類し、分類コードのみ記録）、職業、最終学歴、病前性格（自由記述、チェック表）。

#### 5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究用の番号は九大精神科カルテの年代・巻数・巻中の順番によって定められますが、カルテを部外者が閲覧することはできません。カルテから取得した情報を転記したエクセルファイルはパスワードをかけて、指紋認証付きポータブルSSDに保存し、指紋認証によるロックをかけたうえで、使用の際にはwifi環境をオフにします。ポータブルSSDは研究責任者の勤務先にて、第三者が立ち入ることのできない区画にある、施錠できる部屋の施錠できるキャビネット内で保管します（九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野教授室）。保存媒体の破損に備えて、エクセルファイルのコピーはパスワードをかけて、クラウドストレージ（二段階認証で管理されたもの）にもセーブします。また、この研究の成果を発表する場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野・教授・中尾智博の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。研究対象者に含まれる可能性のある方で、情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。本研究の対象者に含まれていることを確認したうえで、対応いたします。

#### 6. 試料や情報の保管等について

〔情報について〕

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野において同分野教授・中尾智博の責任の下、10年間保存した後、新たな研究申請がなければ廃棄します。

しかし、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、将来新たな医学研究が計画・実施される場合には、前述の期間を超えてこれを保管し、使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、

改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

## 7. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は日本学術振興会が管理する科学研究費（課題番号 20K20502）であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

（窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082）

## 8. 研究に関する情報の開示について

この研究の対象に含まれることが確認された方につきましては、他の研究対象者の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

## 9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野 九州大学文書館
研究責任者	九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野 教授 中尾智博
研究分担者	九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野 共同研究員 本村啓介 九州大学病院精神科神経科助教 高井善史 九州大学文書館 准教授 赤司友徳 九州大学大学院人間環境学研究院 臨床心理学講座 教授 黒木俊秀 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野 共同研究員 後藤基行 同上 共同研究員 中村江里

## 10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 担当者：九州大学病院精神科神経科助教 高井善史  
(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕 092-642-5627

〔FAX〕 092-642-5644

メールアドレス：takai.yoshifumi.328@m.kyushu-u.ac.jp